

## 第5期福生市地域福祉計画の中間答申に関する意見

提出人数 1人（3項目）

	市民意見の概要	意見に対する市の考え方
1	<p><b>P34</b> 見守りネットワークづくりについて ひとり暮らし高齢者などを地域で見守るネットワークづくりを進め、確立します。とあるが、具体的にはどうするのか、より具体的な事例あるいは先進自治体のモデル事業等を参考に提示しないと、現状打破はできないと考える。</p>	<p>地域における高齢者等の見守りは、東京都水道局との見守り協定の締結や、町会・自治会等への回覧などを実施しています。平成28年度からは、見守りを願うポスター等を作製し、市内施設や、関係事業所、他コンビニ等にポスター掲示を依頼します。また、地域包括支援センターだよりを作成するなど、様々な取組を実施する予定です。</p>
2	<p><b>P47</b> 地域ケア会議の開催について 地域ケア会議について、情報の共有化を図る必要がある。地域に何人の要援護者がいるか、何人の独居高齢者がいるかなど具体的な情報の中で、国や都、自治体の支援メニューがあるのかなどを示してこそ地域に合った「住み慣れた地域で暮らし続ける体制づくり」ができるのではないか。</p>	<p>介護福祉課が主催する全体の地域ケア会議は、平成27年度は3回開催しています。また、地域包括支援センターが開催する全体の地域ケア会議は、全体の会議が3回、市内を3地区に区分した地域別の地域ケア会議は12回開催しており、3月までにあと3回開催する予定です。全体の地域ケア会議の内容は、今後、ホームページ等で公開していく予定です。</p>
3	<p><b>P50</b> 認知症カフェの開催について 認知症カフェ(オレンジカフェ)の重要性をどこまで地域、町会、自治会単位にまで落とし込めるか。そのためには認知症の理解を深める認知症サポーターなどの人的拡大、軽度認知障害の早期発見のための測定機器の配置など、具体的な取り組みを示さないと観念論で終わってしまう。</p>	<p>オレンジカフェは、社会福祉協議会が福祉センターで2か月に1回開催しています。参加人数も増加しており、設置の希望や増設の必要性を見ながら判断していきたいと考えています。認知症サポーターの拡大につきましても取り組んでいきます。</p>